

みずほCustomer Desk Report 2022/01/28号 (As of 2022/01/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.68
TKY 9:00AM	114.72	1.1241	128.97	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	115.49	1.1243	128.97	1.3465	0.7121
SYD-NY Low	114.48	1.1131	128.33	1.3469	0.7122
NY 5:00 PM	115.37	1.1144	128.60	1.3360	0.7024
NY DOW	34,160.78	▲ 7.31	日本2年債	-0.0600	1.00bp
NASDAQ	13,352.78	▲ 189.34	日本10年債	0.1600	2.00bp
S&P	4,326.51	▲ 23.42	米国2年債	1.1872	3.18bp
日経平均	26,170.30	▲ 841.03	米国5年債	1.6608	▲ 2.62bp
TOPIX	1,842.44	▲ 49.41	米国10年債	1.8021	▲ 6.97bp
シカゴ日経先物	26,575.00	▲ 370.00	独10年債	-0.0590	1.45bp
ロンドンFT	7,554.31	84.53	英10年債	1.2265	2.85bp
DAX	15,524.27	64.88	豪10年債	2.0280	5.40bp
ハンセン指数	23,807.00	▲ 482.90	USDJPY 1M Vol	6.15	0.35%
上海総合	3,394.25	▲ 61.42	USDJPY 3M Vol	6.29	0.16%
NY金	1,793.10	▲ 36.60	USDJPY 6M Vol	6.55	0.15%
WTI	86.61	▲ 0.74	USDJPY 1M 25RR	-0.78	Yen Call Over
CRB指数	250.907	▲ 1.02	EURJPY 3M Vol	7.33	0.33%
ドルインデックス	97.26	1.31	EURJPY 6M Vol	7.38	0.14%

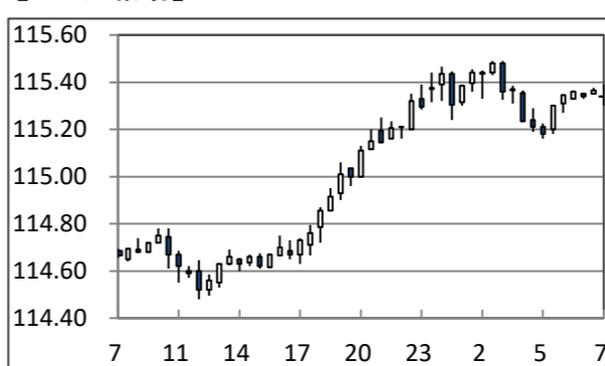
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月27日	22:30	米 新規失業保険申請件数	22-Jan 260k	265k
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	12月 -0.9%	-0.6%
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q A 6.9%	5.5%
	22:30	米 個人消費	4Q A 3.3%	3.4%
	22:30	米 コアPCE(前期比)	4Q A 4.9%	4.9%
1月28日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	12月 -3.8%	-0.4%

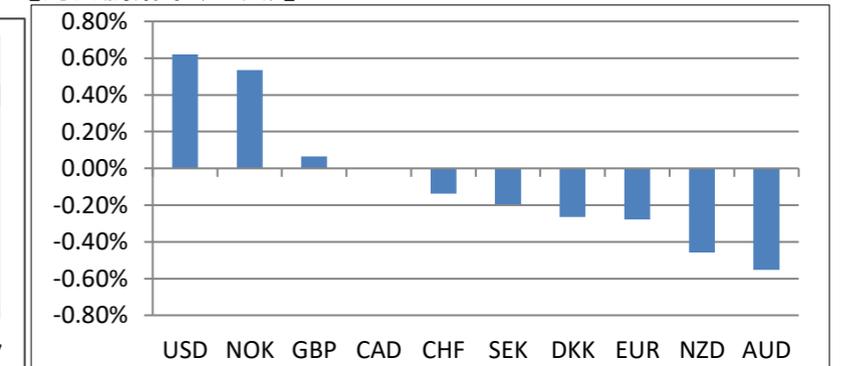
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月28日	09:30	豪 PPI(前期比/前年比)	4Q -	1.1%/2.9%
	19:00	欧 消費者信頼感・確報	1月 -	-8.5
	22:30	米 個人所得/個人支出	12月 0.5%/-0.6%	0.4%/0.6%
	22:30	米 PCEフル・フル(前月比/前年比)	12月 0.4%/5.8%	0.6%/5.7%
1月29日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	1月 68.8	68.8
1月30日	10:30	中 製造業PMI	1月 50.0	50.3
	10:30	中 非製造業PMI	1月 51.0	52.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.80-115.70	1.110-1.118	128.00-129.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、上昇する展開。日経平均が大きく下落したことで一時円高に振れたものの、日経平均の下げ止まりとともにドル買いが進展。海外入りでドル高が加速し、115円台へ突入した。米GDPが市場予想を大きく上回ったことで一段上昇したが、後場に入り米株が崩れる展開に、やや水準を切り下げたものの115円台を維持してクローズした。本日のドル円は底堅い推移を予想。昨日の米国時間では米株価が下落に転じたことでドル円もやや水準を切り下げたものの、米株は引きにかけては下げ止まっており、やや安心感か。本日は、みなし五十日ということもあり、日中は支えられやすい展開になると思われる。ただし、ロシア・ウクライナ問題に端を発した地政学リスクは依然として燻っているといえ、リスクセンチメントが大きく悪化する場合は、一転ドル売り/円高圧力の流れにも留意したい。

東京	東京時間のドル円は114.72レベルでオープン。直後に114.78まで上昇するも、その後は一時900円超安となった日経平均株価の値動きを横目に円買い圧力が強まり、ドル円は114.48まで下落。114円台前半では相応に買い意欲があることや、株価が下げ止まったことを受けてドル円は徐々に買い戻され、結局オープンとほぼ同水準の114.70レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、114.70レベルでオープン。前日のFOMCを受け欧州時間はドルが全面高となりクロス円は上値重かったが、ドル円はほぼ一本調子で上昇。115.35まで買われ115.33レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	前日の効率的なパウエル議長のFOMC後の記者会見内容を受け、海外市場ではドル買いが継続し、ドル円は心理的な節目である115円を上抜けし、一時115.35まで戻し115.33レベルでNYオープン。朝方は新規失業保険申請件数が予想範囲内の結果となるが、米第4四半期GDP(1次速報)が、コロナの影響が強かった中でも消費が増加基調を保ったことに加え、在庫の回復が大きかったことから大きく予想を上回り、2021年通年では実質GDPが前年比+5.7%と1984年以降の伸びとなったこともあり115.46まで上伸する。その後は12月中古住宅販売仮契約が予想以上に悪化したこともあり115.24まで反落するが、株式市場が堅調に推移する中クロス円の買いに115.49までサポートされる。しかし正午を過ぎると大幅に上昇していた株式市場が上げ幅を縮小しマイナス圏へ下落する展開や、米7年債入札結果が良好であったことから米長期金利が下落する動きも加わり、115.16まで反落する。終盤に掛けては新規材料に欠ける中、閑散な取引が続き、115.37レベルでクローズした。一方、海外市場でドル買いが継続したことから、ユーロドルは一段と下落し1.1158レベルでNYオープン。朝方は米GDP結果を受け更にドルが買われたことから2020年6月以来のレベルである1.1135まで下落する。その後一旦ショートカバーに1.1162まで戻すが、ユーロ円の売りが強まり1.1131まで下落する。午後は1.1140付近での推移が続き、1.1144レベルでクローズした。尚、NYオープン前にロシア外務省のウクライナとの戦争は考えられないとの見解が伝わったが為替市場の大きな反応は見られなかった。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 甲斐・上遠野